

篠中だより 10月号



校訓 「智」「想」「誇」

一人ひとりの自己実現(かなえる)に向けて

自律

自分で考え、よりよく判断し、行動できる人

令和6年10月25日	
篠栗町立篠栗中学校	
校長 早川 昌吾	
生徒数	629名
1年生	194名
2年生	226名
3年生	209名

1年生の友情と絆を育んだ「ふれあい体験教室」

9月18日(水)～20日(金)に、福岡県立社会教育総合センター(篠栗町金出)において、1学年ふれあい体験教室に行ってきました。残暑厳しい状況の中、屋外で協力して目的を達成する「スペアビンゴ」、篠栗の名所を巡る「ささぐりさぐり」を班の仲間と力を合わせ、楽しみながら活動していく中で、ひとつずつ難関を乗り越えながら「絆」を深めることができましたようです。

公共の施設を利用する中で、「公共心＝ほかの人たちも使う上で迷惑をかけない、いやな思いをさせない守るべきこと、マナー」についても徐々に意識できるようになっていき、生徒の姿や行動を、食堂の方たちをはじめ施設の方たちからほめてもらえるなど、高い評価をいただきました。

充実した3日間でしたが、その中でも特に印象に残ったのは、仲間や先生の話聞く時の真剣なまなざしの変化です。事前の取り組みでしっかり係の仕事内容やスケジュールについては打ち合わせしていたものの、初日は、「非日常」という環境の中、仕事や役割をうっかり忘れてしまうケースが多かったのですが、1日目の夜の実行委員会、係会などで「このままではいけない」「もっとやれるはずだ」という機運が高まり、その後のリーダーの話す目に「熱」が感じられるようになっていきました。それを感じた多くの人たちが、「リーダーを支えよう」「仲間の一生懸命に応えよう」という気持ちで、「真剣なまなざし」に表れていました。



この3日間で得られた「手応え」を生徒・引率した学年の先生がともに感じる事ができた意義深い取り組みになったと思います。本当に暑く厳しい状況の中、生徒と先生とで想いを一つにしてよく頑張りました。

学校の新しいリーダーが選ばれた「生徒会役員選挙」



9月27日に令和7年度の生徒会役員候補者の立ち合い演説ならびに投票が行われました。

生徒会の選挙やその後の生徒会活動には、「有権者」といい、選挙権を持ち、政治に参加することへの意識を持つ、きっかけにしてほしいというねらいもあります。

今後社会の担い手となる篠中の皆さんに、民主主義の基本である選挙を正しく理解できるよう、生徒会役員選挙を、実際の一般社会で行われている選挙に近い形で行いました。投票は実際の選挙で使用して

いる『投票箱』や『投票記載台』などの選挙用具を篠栗町選挙管理委員会からお借りして行いました。

これからの世の中は、様々な国の人たちの考えや価値観を地球規模で考えていく、グローバル化が益々、進む社会となります。社会科の授業はもとより、新聞やニュースなど様々な情報から、しっかりと自分の意思が持てるようになってほしいと思います。今回の生徒会選挙が「有権者」としての心がけを作るきっかけになることを願っています。

そして、生徒の皆さんには『自分たちで選んだリーダー』をしっかりと支えていこうとする心構えが、必要不可欠であることを肝に銘じてほしいと思います。それに対して、選ばれた新しいリーダーの皆さんも『仲間のために』という意識を常に心に刻んで頑張ってください。新しい篠中の歴史を創っていきましょう。

生徒会役員			
役職		役職	
会長		図書	
副会長		学習	
		生活	
庶務		整美	
保安		給食	

クラスの想いがこもった「合唱コンクール」と「文化発表会」

R7 文化発表会スローガン

調和

対話を通して支え合える環境をつくり、
互いの良さを認め合える文化発表会

10月11日(金)令和7年度文化発表会・合唱コンクールが開催されました。この取り組みは、『学級合唱の練習過程でおくる諸問題や課題を学級のみんなで解決していくことを通して、一人ひとりが集団の構成者であることを自覚し、集団内における人と人とのふれあいやつながりを深める』という目的の元に取り組む学校の二大行事の一つです。得意・不得意や声量など、一人ひとりの違いを認め合いながら、自分の役割や存在の大切さを意識してほしいという願いもありました。

夏休み前からの伴奏者の練習に始まり、各学級それぞれの技術的な課題、集団のまとまり的な課題など、担任の先生を含め、解決に向けて一生懸命に練習に取り組むことができました。さらには、2週間という短い練習時間の中であつたにもかかわらず、声量、リズムなどの技能の高まり、指揮者を中心にまとまりのある集団の美しさを見事に発揮・表現することができました。**感動です。**

また、合唱を聞く際の態度にもステージ上の他学級を支える凜とした雰囲気があり、ステージと観客が一体となった「**音楽の本質的な楽しさ**」を実感することができたと思います。



最優秀賞3年1組の堂々とした合唱の様子

どの学級も、山あり谷ありを乗り越えてきた感じがよく伝わりました。そして、取り組んできた足跡(軌跡)を感じ取ることができる姿でした。具体的には、「**指揮者を見つめる真剣なまなざし**」「**恥ずかしいなどの弱気を乗り越えた堂々とした立ち姿**」「**仲間のために歌うという信頼感**」そんな姿を、すべての学級に観ることができたことが、何よりうれしく、感動させられました。

最終的には、順位が決まりましたが、どの学級も自分たちらしく歌いぬいてくれたことに、正直、**順位は関係ない**と思えました。伝統ある篠中の合唱に、新たな1ページを刻んだように思えました。



2 学年キャリア教育 『夢授業』



9月20日(金)2年生が、キャリア教育の一環として、『夢授業』という、様々な職業人の方々を学校にお招きし、その職業のやりがいや苦勞など、生の声を聴くことができる体験学習に取り組みました。生徒の皆さんは、興味津々。意欲的に質問する姿をたくさん見ることができました。

将来の自分の在り方を展望するとても良い経験になったようです。



中体連最終種目 駅伝大会 そして新人大会始まりました！

中体連夏季総体の最終種目である駅伝大会。篠中チームは男女そろって出場し、「襷(たすき)」に想いをつないで走りぬきました。男女とも昨年より順位を大幅に上げ、これ



までの練習の成果を大いに発揮することができました。
※ その他の部の様子は11月号で紹介します。

学校に『街角ピアノ』登場

1階の「志立てろう下」というスペースに、昼休みに誰でも弾けるピアノが登場しました。そのピアノの周りに生徒の輪がつけられ、生徒の憩いの場となっています。時には、音楽が専門の伊丹教頭先生が飛び入り参加し演奏をしてくれたり、篠中の新たな癒しスペースとなっています。

